

2025年度報告

事業計画予算 2600万円目標に対し、実績28,206,090円 達成率108%

月	開設日数					登録児童数					利用人数					利用平均人数					保育料・事業費			
月 開所日数	平日 開所日数	休日 開所日数	乳幼児 開所日数		放デイ	乳幼児		合計	放デイ 利用人数	乳幼児 利用人数		延利 用数	放デイ 平均	乳幼児 平均		利用 平均								
4月	21 日	12 日	9 日	13	日	32	人	12	人	44	人	143	人	50	人	193	人	6.81	人	3.85	人	9.2	人	2,499,162
5月	21 日	17 日	4 日	14	日	31	人	12	人	43	人	138	人	47	人	184	人	6.57	人	3.36	人	8.8	人	2,380,908
6月	20 日	16 日	4 日	12	日	30	人	12	人	42	人	137	人	41	人	178	人	6.85	人	3.42	人	8.9	人	2,386,863
7月	23 日	11 日	12 日	14	日	30	人	12	人	42	人	152	人	53	人	205	人	6.61	人	3.79	人	8.9	人	2,700,755
8月	18 日	0 日	18 日	11	日	30	人	11	人	41	人	123	人	38	人	161	人	6.83	人	3.45	人	8.9	人	2,117,390
9月	20 日	16 日	4 日	12	日	30	人	11	人	41	人	141	人	37	人	178	人	7.05	人	3.08	人	8.9	人	2,364,484
10月	23 日	19 日	4 日	15	日	29	人	11	人	40	人	141	人	48	人	189	人	6.13	人	3.2	人	8.2	人	2,460,478
11月	21 日	16 日	5 日	12	日	29	人	11	人	40	人	142	人	39	人	181	人	6.76	人	3.25	人	8.6	人	2,347,317
12月	20 日	16 日	4 日	12	日	27	人	11	人	38	人	121	人	35	人	156	人	6.05	人	2.92	人	7.8	人	2,091,105
1月	20 日	16 日	4 日	12	日	27	人	11	人	38	人	127	人	40	人	167	人	6.35	人	3.33	人	8.4	人	2,322,207
2月	20 日	15 日	5 日	12	日	27	人	12	人	39	人	125	人	40	人	165	人	6.25	人	3.33	人	8.3	人	2,213,928
3月	20 日	12 日	8 日	11	日	28	人	12	人	40	人	120	人	50	人	170	人	6	人	4.55	人	8.5	人	2,321,493
合計	247 日	166 日	81 日	150	日							1610	人	518	人	2128	人	6.7	人	3.6	人	8.9	人	28,206,090

2024年度 実績 27,247,348 円

2025年度 実績 **28,206,090 円**

2024年度に比べて約**100万円**UP

→保育所等訪問事業で22万円→80万円

月平均4～5件程度安定的に支援ができた。

2025年度の目標

利用率の維持と同時に

満足度の高い、質の高いサービスを提供する

目標 1：ライフステージにあった支援を行う

児童発達支援事業)

年長児向けに小学校を意識したプログラムの実施ができた。

→ 4月に進学先の学校に訪問し情報提供実施。

3月に卒所遠足（明石公園・碧南水族館）が実施できた。

PECS・スケジュールなど個別対応の支援も行えた。

低年齢児向けの活動の幅（感覚遊び等）が広げることができた。

学習支援)

中学生：専修学校の体験入学に参加ができた。

男子対象で体験的宿泊でお泊りの経験ができた。

→自分たちで調べてまとめて実践する機会ができた。

夏休みに、読書感想文を書く企画を行った。

目標 2 : 学習支援利用者に必要な検査を行う

学習支援)

- ・ WAVES (ビジョンアセスメント) 小学生中心に実施。
- ・ STRAーR (読み書きアセスメント) 夏休みに3名実施。
- ・ その他、K-ABC II やWISC等の検査も希望者に実施。
→学校に訪問し情報共有も行った

目標 3：学校・園などとの連携の強化 必要な利用者全員の情報共有を行う

訪問をして情報共有をする)

新規利用者（児発）、新入学（小学生）、転園した利用者全員行えた

→保育所等訪問の利用につながったケースあり

学習支援利用者（中学生）の学校を訪問し、担任やコーディネーターの先生と話す機会を持つことができた。

→必要な配慮などを確認することができ、協力できる体制を作ることができた

電話で情報共有をする)

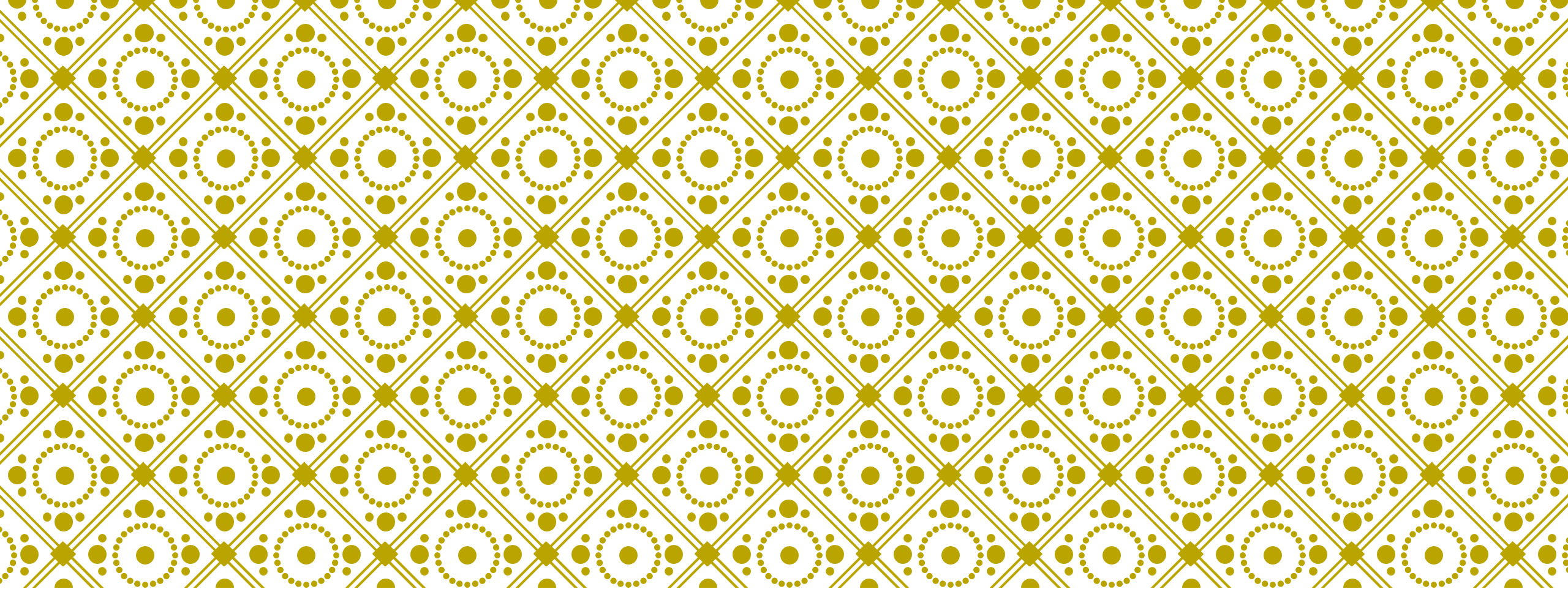
→児発・学習支援ともに、必要なタイミングで連絡をして情報共有ができた

目標4：スタッフのスキルアップ

結果として、支援中に保育所訪問支援に出かけることができるようになった

目標5：発信する機会を増やし、ご家族にぐりーんの支援を知ってもらう

- ・新入職員が主活動の担当や個別課題の準備・実施を行えるようになった。
 - ・十分な時間を使って話し合いをすることは難しかったが、申し送りの際に、新入職員からの発信が増えた。
 - ・学習会を2回開催できた。
通信の定期発行ができた。
自立で来所する利用者の保護者に定期的にメールや電話で連絡をすることができた。
- 前年度より事業所アンケートでの評価も上がっている。



2026年度行動計画

ぐりーんってどんな事業所??

多機能事業所　ぐりーん

- ①児童発達支援事業（集団・個別支援）
- ②放課後等デイサービス（学習支援・個別支援）
- ③保育所等訪問支援事業
 - ①②あわせて1日10人定員

児童発達支援事業

週3回（水・木・金）

在籍 14名（うち新規6名 週2回利用2名）

保健センターや保育園からの紹介も多く、今後も新規の依頼も見込められる。

今年度は年長児が5名在籍している。

低年齢（1歳9か月）の利用も開始している。

今後は、より低年齢の支援の受け入れができることも目標の一つ。

個別支援

在籍：2名

PECS、ABAなど専門的な支援が個別に必要な利用者に限り受け入れを行っている。

基本的に、半年で評価を行い卒業する計画で取り組んでいる。

専門性を求められるため、担当できる職員が限られている。

今後、新規のさらなる受け入れをするには、人材育成が必要。

学習支援

週5回（火～土）

在籍：30人（うち新規は5人）

→今年度は低年齢（小1）からの利用者が2名

ライフスタイルが変わる前後での依頼が多い。

今年度は、現時点での空きがないため積極的な受け入れは難しい。

しかし、来年度卒業見込みの利用者が多いため、後期より計画的に新規の受け入れを行っていく。

保育所等訪問支援事業

登録：5名

→ぐりーんを利用している利用者のうち、必要性の高い方を中心に利用している。

昨年度より、訪問員が1名安定的に稼働ができている。

保護者・園からのニーズが高く、満足度も高い。

今後も新規の獲得が見込める。

訪問員が1名で非常勤のため、今後人材育成が急務。

2026年度利用予定

	火	水	木	金	土
児童発達支援事業 9：30～12：30		5人	5人	5人	
個別支援 1人40分	2人				
放デイ 学習支援 14：30～16：00			1人		10：00～11：30 6人
学習支援 16：00～17：30	7人	6人	5人	6人	14：30～16：00 4人
	9人	11人	11人	11人	10人

※うち2人は5月利用開始予定

1日定員10名に対し、定員を超えて利用する日があるため（追加・振替の希望もある）、職員配置に注意しながら運営をしていく必要がある。

2026年度目標達成金額

26,500,000円

現時点で登録平均：10.4人
(平均8.5人で達成の見込み)

現在の利用率を維持すれば、目標額は達成する見込み

しかし、昨年度の28,206,090円を上回りたい！！

2026年度の事業運営の柱

昨年度と同様に

利用率の維持と同時に

満足感の高い、質の高いサービスを提供する

より満足感の高い、より質の高い

目標 1 : ライフステージにあった支援を提供する

今年度は

中学3年生 (5人)

小学6年 (5人)

年長児 (5人)



それぞれ、次のライフステージを想定した支援が必要

中学3年生...受験の準備、高校生活に必要なスキルの獲得など

小学6年生...自分に必要な配慮や工夫を考えられる（セルフアボドカシー）

年長児...個々にあった就学の準備、必要な配慮などの提案

2月に保護者向けの学習会を開催予定

☆個人にあった支援方法などを関係機関（学校・相談員など）に提供する

目標 2：生活とつながる支援を行う

児童発達支援事業)

利用開始前に必ず園を訪問し、事前アセスメントを行う

必要に合わせて 保育所等訪問とセットで支援を行う

学習支援)

アセスメントや配慮などの情報共有が必要な利用者は学校を訪問をする

進学予定の利用者の学校への情報提供をする

☆保護者との情報共有も引き続き行い、家庭と連携ができるようにする

☆今年度は、児発管・訪問員以外の職員も園や学校の訪問に同行する

目標 3 : 受け入れられる利用者の 年齢層・ニーズの拡大

児童発達支援事業 1, 2歳児

学習支援 小1, 2年生

不登校傾向の利用者の支援 など

職員全体での情報共有の強化

個々のスキルアップ（研修会への参加等）

→アウトプットする機会を増やす

目標 4 : 来年度も10名程度の 新規利用者の獲得をする

新規利用者獲得に向けて

- ・ 相談員、園、保健センターなどの評判を上げる
- ・ 空き状況など積極的に発信をする
- ・ 専門性（STも入職）や連携体制などを発信する

その他に、現在利用している利用児で必要性のある人は週2回を提案をする

今まで以上に選ばれる事業所になる必要がある

今年度の真の目標

今年度は、

「法人全体をみんなで盛り上げたい」



「新事業（ショートステイ）を一緒に成功させたい」

☆ ショートステイでは、児童が利用の際のサポートできたらいいな